

＜川場移動教室＞ 5年生

5/19（月）から5/21（水）の2泊3日で群馬県の川場村まで行ってきました。川場村は群馬県の北東部に位置する村で自然豊かな地域です。子供たちもその自然の豊かさを感しながらのびのびとした3日間を過ごすことができました。学校だよりでは、その様子をお届けします！

＜1日目＞

川場村に到着し、入室式を行った後、里山入門を行いました。ガイドさんに案内していただき、川場村の自然について知ることができました。そのあとは、行動班ごとに分かれてカレーを作りました。初めて火起こしをする子も多く、「結構熱いんだ。」「火起こしって難しいんだ。」などの声が聞こえてきました。自分たちで作ったカレーは格別だったようで、「とてもおいしかった！」と言っている子が多くいました。

夜はレクリエーションをしました。レク係を中心に行動班でリレーや伝言ゲームをして楽しみました。



＜2日目＞

朝は6時半に起きました。眠そうな子もいましたが、朝会では元気よくあいさつできました。朝食を食べた後から林業体験を行いました。林業体験では、間伐作業やキノコの駒打ち体験をしました。山での仕事を体験することで、林業の大切さや役割、人と自然とのつながりを感じることができました。昼食後はハーバリウム作りを行いました。自分で選んだ草や花を瓶に詰めてオリジナルのハーバリウム作りを楽しみました。夕方からはキャンプファイヤーを行いました。高く燃え上がる火を囲いながら、進化じゃんけんや猛獣狩りのレクをしました。みんなで踊ったジギスカンやエビカニックスは一番の盛り上がりを見せ、みんな笑顔で過ごすことができました。



＜3日目＞

楽しかった川場移動教室もついに最終日。最初は不安を感じていた子も、川場での経験や友達との関わりを楽しめたことで終わってしまうのが少し寂しそうな顔をしていました。朝食を食べた後は、部屋の片付けを行いました。来る前よりきれいにして帰れるよう、枕や布団の角をそろえてきれいにしまったり掃除をしたりしました。生活班の中の仲間意識も高まり、協力して取り組む姿がよく見られました。村めぐりのハイキングでは、りんご農園に行き、りんごの栽培の仕方を教えていただきました。最後にいただいたリンゴジュースはとてもおいしく、「今まで飲んだリンゴジュースの中で一番おいしい！」と言っている子が多くいました。

川場移動教室を通して、自分がやりたいことを少し我慢して、友達のことを気遣うことや、感謝の気持ちを伝えることなど、集団生活で大切な力を体験することができました。この学びを今後の学校生活に生かしていきたいです。

＜情報リテラシーについて＞ ICT 主任

今やインターネットや SNS など、情報に触れる機会が日常の中にあふれています。子供たちも動画サイトやゲーム、チャットアプリなどを通じて、日々多くの情報に接しています。しかし、そこには便利さとともに、「誤った情報を信じてしまう」「不適切な発言をしてしまう」といった危険も潜んでいます。

こうした時代に必要とされるのが、「情報リテラシー」の力です。これは、ただ情報を受け取るのではなく、「その情報は正しいのか?」「誰が、どんな目的で発信しているのか?」といった視点で見極める力のことです。また、ネット上での言葉づかいや個人情報の扱い方についても、自分と相手を守るためのマナーが求められます。

学校では、教科や学級活動の中で、「なぜその情報を信じたのか?」「友達が傷つく言葉とはどんなものか?」といった問いかけを通して、**子供たちが自ら考え、判断する力を育てていく指導**を進めています。ご家庭でもぜひ、次のようなことを意識してお子様と話してみてください。

- ・ ネットや SNS で見た情報はすぐに信じず、出どころや事実を確かめること
- ・ 誰かを傷つけるような言葉は画面越しでも届いてしまうこと
- ・ 自分の顔や名前、居場所などの個人情報はむやみに出さないこと
- ・ 長時間の利用や依存傾向がないかを一緒に振り返ること

子供たちが**安心してデジタル社会を歩んでいくために、学校と家庭が力を合わせて**サポートしていけたら願っています。

＜水泳指導＞ 水泳担当

6月に入り、水泳指導が始まりました。プールの前では少し緊張した表情を見せていた子も、水に入ると次第に笑顔がこぼれ、にぎやかな声が響いています。

学年に応じて、「水に慣れる」「浮く」「けのびやばた足」「クロールに挑戦する」など、それぞれのめあてをもって取り組んでいます。水を怖がっていた子が顔をつけられるようになったり、息継ぎができなかった子が少しずつコツをつかんできたりと、小さな「できた!」が積み重なっている様子が印象的です。

また、プールサイドでは「がんばれ!」「すごいね!」と友達に声を掛ける姿も見られ、お互いを認め合う気持ちも育っているように感じます。

引き続き、安全面を最優先に一人ひとりのペースに寄り添いながら、水泳指導を進めてまいります。今後も子供たちの見守りをお願いします。

